

いしずえ

学校教育目標

- ・意欲を持ち 自主的に学習する生徒
- ・人と郷土を愛し 進んで奉仕する生徒
- ・健康で はつらつとした生徒



9月10日の運動会には、たくさんのお客様においでいただいたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。お陰様で、生徒達は声援の中精一杯の競技をすることが出来ました。

国分寺中学校は、教育活動全体で「感動と感化の学校行事の継承」を心掛けて取り組んでいます。合唱コンクールでもそうであったように、3年生が中心となって学校行事を作りあげています。各団のマスゲームでは、夏休み前から3年生がその動きを、何度も何度も話し合いながら練り上げていきます。

そして、動きが完成すると、3年生が下級生に丁寧に教えました。夏休みが終わってから実際の練習が始まりましたが、与えられた期間はわずか7日間です。限られた期間で、100名近くの団員が動きを覚え、合わせることはまるで離れ業を見ているようでした。団をリードした3年生、その思いに立派に応えた下級生、そして生徒達に寄り添いながら支えた先生方、皆が力を合わせて頑張ったからこそ、あの感動があったと思います。生徒達には、あの感動をいつまでも忘れず、大切にしていってほしいと願っています。



(反省会の様子)

右上の写真は、運動会終了後に各団に別れての反省会の様子です。応援団員がそれぞれの思いを感動的に伝えていました。団長としての不安や自分との葛藤、団員への感謝の言葉など、私もそばで聞いていて、話の内容に感動すると共に、子供達の確かな成長を感じました。運動会では競技毎に順位が付きましたが、その取り組む気持ちには順位は付けられないと思います。生徒一人ひとりが一等賞です。ご苦労様でした。生徒の皆さん感動的な運動会をありがとう。

広島派遣事業

下野市では、毎年中学生平和研修派遣を実施しています。ねらいは、「非核平和都市宣言推進事業及び平和学習活動の一環として、広島平和記念式典への参列や原爆ドーム・平和記念資料館等の見学などを体験することにより、次世代を担う若い世代が、核兵器の恐ろしさ、平和の尊さ、生命の尊厳について学び、将来に繋げる生徒を育成する。」です。

広島平和研修に参加して

2年1組 鈴木 耀介

8月5日から7日までの3日間、僕は広島を訪れました。1日目は、被爆体験講話を体験者から実際にお話をうかがいました。当時の広島での出来事を聞いて僕は胸が痛くなりました。

2日目は、平和記念式典に参列しました。特に印象に残ったのは、平和への誓いです。そのことを子供代表の二人が力強く言っていたことに感銘を受けました。その日の夜には灯籠流しがあり、恒久平和の願いを込めて自分の灯籠を流しました。今回の派遣では、原爆についてとてもたくさんを学びました。これからは、学んだ事を学校にとどまらず、地域の方々にも伝えていき、核兵器の廃絶に向けて第一歩になるよう努めていきます。

広島平和研修に参加して

2年2組 篠崎 優花

私が今回平和研修に参加した理由は、身近に戦争を感じたからです。戦争は自分にとって程遠いものだと思っていました。しかし、「そうではない。もっと戦争について知りたい。」と思ったからです。

広島での3日間は私にとって大変貴重な時間となりました。平和記念館の展示物は言葉に出来ないほど悲惨なものでした。このような出来事が、本当に私の住むこの世界で起きたことなのかと目を疑いました。私は、これほどまでに無意味な戦争を二度と起こしてはいけなと思いました。そのためには私達の世代が、戦争の恐ろしさを知り、考えることが必要だと思っています。